

令和7年度（2025年度）

## 学校運営方針

中津市立緑ヶ丘中学校

校長 岸 原 宏

### 【基本方針】

- ・学校をとりまく地域の特性や実態を、多面的に把握・理解し、総合的に「学校」「家庭」「地域」「関係機関」と連携・協働して教育活動を行う。
- ・生徒の学びの保障・多様なものの見方、考え方の習得を目指し、社会の変化に柔軟に対応できる能力、未知の課題に立ち向かう意欲と態度を育成する。



### 【目指す学校像】 ※ 学校運営協議会との協働

- ・共に学び、共に磨き合う学校 (切磋琢磨、学びに向かう力を育む)
- ・よりよい生活を求める学校 (安全・安心、健康、あいさつ、マナー)
- ・自他を尊重し、多様な考え方を尊重する学校 (自他の尊重、思考力・判断力・表現力の育成)
- ・自ら考え、学び続ける学校 (自主性、継続性)
- ・地域・社会に開かれた学校 (家庭・地域・行政との連携と協働、地域人材の活用)
- ・組織的な取組を実践する学校 (学校運営への参画、各目標や取組の検証・改善、組織的な授業改善と生徒支援、チーム緑中)
- ・郷土を愛し、平和と平等を願う学校 (郷土愛、地域の自然と環境愛護、平和と平等の尊重)



### 【目指す生徒像】

- ・自己理解を深め、意欲的に頑張る生徒 (学びに向かう力、発信力、表現力)
- ・自分と周りの人を大切にする生徒 (自他の尊重、安全、安心、健康、あいさつ、マナー)
- ・自ら考え、学び続ける生徒 (知識・技能、思考力・判断力・表現力、自主性、継続性)
- ・郷土を愛し、平和と平等を願う生徒 (郷土愛、地域の自然・環境愛護、人権意識)



### 【目指す教師像】

- ・生徒を中心に据えて、組織的に教育活動に尽力する教師 (生徒ファースト、チーム緑中)
- ・「学習指導要領」を軸として 生徒に確かな力を身につけさせるために、学び続ける教師 (知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・ICT活用力)
- ・「生徒指導提要」を軸として 生徒の思いによりそい、共感的な人間関係を構築できる教師 (自他の尊重、受容、安全、安心)
- ・平和と平等を願い、信頼される教師 (規範意識、人権意識、平和と平等の精神)

【育成を目指す資質・能力】 「問題発見・解決能力」「人間関係形成能力」

【学校の教育目標】

課題に気づき 解決を目指し考え 目的意識をもって実行する生徒の育成  
(問題発見) (解決能力) (意欲を高めて挑戦する力)

【教育目標達成に向けた具体的な手立て】

1. 授業改善の推進 【知・徳】

- ・生徒が主体的に学び考えを深める「わかる授業」を実践し、基礎基本の定着を図る  
(ユニバーサルデザインの視点・個別最適な学習・インクルーシブ教育の充実)
- ・ICT・思考ツール等を授業で活用し、個または少人数のグループで深く考える場を設定することで、問題発見・解決能力の向上を図る
- ・生徒が主体的に活動できるよう組織的に授業改善を図る(研修・生徒指導の三機能を意識)
- ・意思や考えを発信できる表現力の育成(言語能力・コミュニケーション能力)

2. 安全・安心な学校づくり及び、生徒の健康増進・体力向上に努める 【徳・体】

- ・生徒指導の三機能(自己決定・共感・自己存在感)を意識したいじめを許さない体制の強化
- ・保健室の機能を有効に活用した生活支援・相談活動の充実(SC・SSWとの連携)
- ・生徒の安全な学校生活の確立に向けた環境と体制づくり(危機管理意識の保持)
- ・運動の習慣化・日常化による体力向上と食育(栄養)指導の推進
- ・地域の自然や環境学習と連動した防災意識を養う防災教育の推進

3. 小学校・家庭・地域・関係機関と連携した学校づくりの推進

- ・小中9年間を通した学習や生活における、校区の小学校との組織的な小中連携の推進
- ・家庭学習を含む基本的な生活習慣の定着に向けた保護者と連携できる取組の推進  
(不登校支援・家庭学習・読書・メディアコントロールなど)
- ・社会に開かれた学校づくりに向けた地域との連携
- ・「総合的な学習の時間」を軸にした教科横断的な教育課程の編成と、関係機関との連携
- ・学校運営協議会と協働する地域協育の推進

4. 教育水準の向上を目指す、組織的・効果的・効率的な組織体制の構築と推進

- ・「チーム緑中」を意識し、目標達成に向けて組織的に取り組む強い教職員集団の構築
- ・学校の重点目標や取組(4点セット)における検証・改善による全教職員の主体的な学校運営への参画意識の涵養
- ・学校全体で連携する横断的で組織的な個に応じた生徒支援と生徒指導を実践する組織力の向上
- ・教科の指導(学習指導要領)と生徒指導(生徒指導提要)の一体化を意識した教育活動の推進
- ・メンタルヘルスの維持とバーンアウトの未然防止のため、「働き方改革」と「同僚性の向上」